



中部地方労働組合生産性会議 議長
大久保 章

中部地方労働組合生産性会議（中部労生）は、労働組合自身の手によって生産性運動を

全国の組合にひろめ、今日まで活動を推進しています。

その組織化を図ろうとする動きの中から、組織・系列を超えて1959年全国労働組合生産性企画実践委員会（現在の全国労働組合

関係等について各労働組合の活動が正当かつ有効に展開されるよう

産業界の近代化に即応する生産性問題、労使

現在の日本の経済社会は、ますます厳しさが増すグローバル競争や、少子高齢社会をはじめとする大きな環境変化に直面しており、

現在の日本の経済社会は、ますます厳しさが増すグローバル競争や、少子高齢社会をはじめとする大きな環境変化に直面しており、

現在の日本の経済社会は、ますます厳しさが増すグローバル競争や、少子高齢社会をはじめとする大きな環境変化に直面しており、

現在の日本の経済社会は、ますます厳しさが増すグローバル競争や、少子高齢社会をはじめとする大きな環境変化に直面しており、

現在の日本の経済社会は、ますます厳しさが増すグローバル競争や、少子高齢社会をはじめとする大きな環境変化に直面しており、

現在の日本の経済社会は、ますます厳しさが増すグローバル競争や、少子高齢社会をはじめとする大きな環境変化に直面しており、

現在の日本の経済社会は、ますます厳しさが増すグローバル競争や、少子高齢社会をはじめとする大きな環境変化に直面しており、

現在の日本の経済社会は、ますます厳しさが増すグローバル競争や、少子高齢社会をはじめとする大きな環境変化に直面しており、

現在の日本の経済社会は、ますます厳しさが増すグローバル競争や、少子高齢社会をはじめとする大きな環境変化に直面しており、

現在の日本の経済社会は、ますます厳しさが増すグローバル競争や、少子高齢社会をはじめとする大きな環境変化に直面しており、

現在の日本の経済社会は、ますます厳しさが増すグローバル競争や、少子高齢社会をはじめとする大きな環境変化に直面しており、

現在の日本の経済社会は、ますます厳しさが増すグローバル競争や、少子高齢社会をはじめとする大きな環境変化に直面しており、

現在の日本の経済社会は、ますます厳しさが増すグローバル競争や、少子高齢社会をはじめとする大きな環境変化に直面しており、

現在の日本の経済社会は、ますます厳しさが増すグローバル競争や、少子高齢社会をはじめとする大きな環境変化に直面しており、

中部地方労組生産性会議の活動紹介

その中で、中部地区の主要労働組合の委員長から現在の組合活動の特徴的な取り組み、課題の討議を通じて中部労生の活動を幅広く認識いただく場である「労組生産性大会」や、組合活動の原点である職場を

の各労働組合活動の発表を伺いながら、産別・業種を超えたネットワークを構築する場である「労働組合実践活動研究部会」などを中心に取り組んでおり、好評をいただいております。

生産性会議・公益財団法人日本生産性本部（内）が生まれ、1960年中部地域の労働組合もこれに呼応し、1969年発展的に現在の名称に変更し、中部生産性本部と連携して

に調査、研究交流などに取り組んで参りました。

そうした活動を評価いただき、現在231組織（2015年8月31日現在）まで会員数は拡大してきておりま

そうした活動を評価いただき、現在231組織（2015年8月31日現在）まで会員数は拡大してきておりま

そうした活動を評価いただき、現在231組織（2015年8月31日現在）まで会員数は拡大してきておりま

そうした活動を評価いただき、現在231組織（2015年8月31日現在）まで会員数は拡大してきておりま

現在の日本の経済社会は、ますます厳しさが増すグローバル競争や、少子高齢社会をはじめとする大きな環境変化に直面しており、

現在の日本の経済社会は、ますます厳しさが増すグローバル競争や、少子高齢社会をはじめとする大きな環境変化に直面しており、